

第38回「地域の会」定例会資料

前回（7/5）以降の動き

<公表関係>

◎不適合事象関係

【区分Ⅰ】

- ・なし

【区分Ⅱ】

- ・なし

【区分Ⅲ】

- ・ 7月12日 協力企業作業員の計画線量超えの発生について
- ・ 7月19日 7号機気体廃棄物処理系の高感度オフガスモニタの指示値上昇について

【その他】

- ・なし

【不適合事象の続報・調査結果等】

- ・ 7月12日 柏崎刈羽原子力発電所3号機の原子炉再循環系配管の評価結果ならびに4号機の原子炉再循環系配管の対応について

◎定期検査関係

- ・ 7月24日 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所3号機の原子炉起動操作実績について
- ・ 7月28日 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所3号機の発電開始について

◎その他発電所に係る情報

- ・ 7月6日 可燃性ガス濃度制御系等の測定計器に係る不適合事象に関する原子力安全・保安院からの指示について
- ・ 7月11日 当社原子力発電所における計器の点検計画の提出について
- ・ 7月31日 当社原子力発電所における計器の点検過程で確認された運転上の制限を逸脱する事象について

<その他>

- ・ 3号機における制御棒位置表示に関する警報の発生について（調査結果）

<参考>

当社原子力発電所の公表基準（平成15年11月策定）における不適合事象の公表区分について

区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象
区分Ⅱ	運転保守管理上重要な事象
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象
その他	上記以外の不適合事象

<公表関係>

◎不適合事象関係

【区分Ⅲ】

- ・ 7月12日 協力企業作業員の計画線量超えの発生について
〔 ※ プレス文 添付 〕
- ・ 7月19日 7号機気体廃棄物処理系の高感度オフガスモニタの指示値上昇について

7月18日午前11時41分頃、気体廃棄物処理系の高感度オフガスモニタの指示値に上昇傾向が認められたことからオフガス（排ガス）をサンプリングして分析を行った結果、当該処理系のオフガスの放射能濃度が上昇していることを確認しました。現在、オフガスの放射能濃度は安定しております。ガス状の放射性物質については気体廃棄物処理系で減衰処理されており、排気筒モニタの指示値に変動は見られないことから、外部への放射能の影響はありません。

当該処理系のオフガスの放射能濃度が上昇した原因としては、燃料棒の被覆管に微小な孔が発生し、ガス状の放射性物質が原子炉冷却材中に漏れ出た可能性が考えられます。このため、関連パラメータの監視強化を行うとともに、本日午後からプラント出力を下げた状態で制御棒を操作し、放射性物質が漏れ出た可能性がある燃料集合体位置の調査を行います。当該燃料集合体の位置が特定された場合には、近傍の制御棒を挿入し、当該燃料集合体の出力を抑制した上で、再びプラント出力を定格熱出力に戻すこととしております。

【不適合事象の続報・調査結果等】

- ・ 7月12日 柏崎刈羽原子力発電所3号機の原子炉再循環系配管の評価結果ならびに4号機の原子炉再循環系配管の対応について
〔 ※ プレス文 添付 〕

◎定期検査関係

- ・ 7月24日 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所3号機の原子炉起動操作実績について

本日、午後6時00分に原子炉を起動（制御棒引抜操作開始）。なお、今回の定期検査において、原子炉内に装荷されていた全てのハフニウム板型制御棒（21本）の取り替えおよび点検を実施し、健全性に問題のないことを確認いたしました。

- ・ 7月28日 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所3号機の発電開始について
〔平成18年7月27日午後6時10分発電を開始。今後、総合負荷性能検査を受け、8月下旬に定期検査を終了予定。〕

◎その他発電所に係る情報

- ・ 7月 6日 可燃性ガス濃度制御系等の測定計器に係る不適合事象に関する原子力安全・保安院からの指示について

本年6月以降、福島第一原子力発電所1号機、3号機および5号機の可燃性ガス濃度制御系の流量計ならびに同3号機の原子炉給水系統や気体廃棄物処理系統の流量計において、計器の設計図書の誤りや測定器の設定間違いに起因する測定器の誤表示（以下、「計器の設定に係る不適合」）が判明した事象に鑑み、当社原子力プラントの当該系統を含む重要な計器について調査を行っておりますが、これに関連して、本日、経済産業省原子力安全・保安院より、指示文書を受領いたしました。

この指示にもとづき点検計画を作成して速やかに対応し、原子力安全・保安院に報告いたします。

なお、調査の過程で、運転上の制限を逸脱する事象も含めて、計器の設定に係る不適合が確認された場合には、速やかに計器の校正を行い、計器が適切な指示値を示すことを確認するとともに、7月末を目途にとりまとめてお知らせいたします。

- ・ 7月11日 当社原子力発電所における計器の点検計画の提出について

経済産業省原子力安全・保安院からの指示にもとづき、当社の全ての原子力発電所に設置されている計器が適正な指示値を示すことを確認するための点検計画をとりまとめ、本日、原子力安全・保安院へ提出いたしましたのでお知らせいたします。

この点検計画にもとづき、保安規定に定める監視に用いられている計器ならびに定期検査の判定基準を満たすことの確認に用いられている計器について、平成18年7月31日までに点検を実施し、その結果を8月11日までに原子力安全・保安院へ報告いたします。なお、現在定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所4号機および7月末から定期検査を予定している福島第一原子力発電所5号機については、原子炉起動までに点検を実施し、その結果を報告いたします。

さらに、その他の計器についても点検を実施し、その結果を平成19年7月末までに原子力安全・保安院へ報告いたします。

また、点検結果を踏まえた原因究明と再発防止策については、中間とりまとめを平成18年8月31日までに、最終とりまとめを平成19年7月末までに行い、それぞれについて原子力安全・保安院へ報告いたします

- ・ 7月31日 当社原子力発電所における計器の点検過程で確認された運転上の制限を逸脱する事象について

本日までに、福島第一原子力発電所6号機の低圧炉心スプレイ系および同4号機の自動減圧系において、運転上の制限を逸脱する事象（計2件）を確認いたしました。福島第二原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所の対象計器は、これまでの点検において、運転上の制限を逸脱する事象は確認されませんでした。なお、当初、7月31日までに点検を終了する予定でしたが、現在も継続して点検を実施しているところであり、点検結果については8月11日までに原子力安全・保安院へ報告いたします。

<その他>

- 3号機における制御棒位置表示に関する警報の発生について（調査結果）
3号機は5月12日に全ての制御棒（185本）を全挿入して原子炉の運転を停止。その後、5月13日「制御棒ドリフト」の警報が発生したことから、制御棒位置監視盤にて制御棒位置を確認したところ、制御棒1本が全挿入位置から1ノッチ（約15cm）引き抜けている状態を示していた。（平成18年5月15日お知らせ済み）
調査の結果、当該制御棒および関連する炉内構造物、制御棒位置表示装置には異常が確認されなかったことから、原因は原子炉停止作業の過程において、制御棒駆動機構に設置されているつめが制御棒の溝に充分噛み合わずに引っ掛かったような状態で偶発的に停止していたために、制御棒駆動機構のつめが外れたと推定。
今後は制御棒駆動機構に設置されているつめが溝に確実に噛み合い、全挿入が確実に実施されたことを確認するような操作手順に改訂することとする。

以 上